



# 第83回新潟救急医学会

【パネルディスカッション】

「ポストコロナ時代における新潟県の救急医療」  
感染症パンデミックから救急医療を守る  
新潟県PCCの取り組み

新潟大学 災害医学・医療人育成分野教授 高橋 昌先生

県央医療圏・医療再編による救急医療立て直し計画  
～県央基幹病院開院を軸に～

県立燕労災病院 救急科部長 新田正和先生

救急拠点に向けた済生会新潟病院の挑戦

済生会新潟病院 院長 本間 照先生

日時 令和5年7月9日（日）13:00-16:00  
会場 新潟医療人育成センター 2階セミナー室  
（ハイブリッド方式）**学生無料**



# 第 83 回新潟救急医学会プログラム

日 時 令和5年7月9日（日）13時00分より  
会 場 新潟医療人育成センター 2階セミナー室（新潟市中央区旭町通一番町 757 番地）

- 1) 医師、看護師、救急隊員ほか、救急医療に携わるすべての皆様のご参加をお願いいたします。
- 2) 参加費：1000円（但し、団体支払い済みの消防機関の所属職員は無料です）
- 3) 演者の方へ 発表分7間、質疑応答3分間となっています（時間厳守）。
- 4) ご来場の際はマスク着用をお願いします。
- 5) **WEB開催併用（ハイブリッド方式）**です。ZoomのIDおよびパスワードは別便にて連絡致します。
- 6) お問い合わせ：電話 (025)227-2338 新潟救急医学会事務局 本多忠幸

開会の辞（13:00）新潟大学 本多忠幸

【情報提供】（13:00～13:10）

「アンチトロンビン療法の新たな選択肢について」

一般社団法人 日本血液製剤機構

【一般演題】（13:10～14:30）

司会 本多忠幸（新潟大学）

- 1) 旬な食材がもたらした中毒症例 ～小児救急対応から得た課題～  
上越地域消防局 室岡 剛
- 2) 救命の連鎖が繋がったことにより社会復帰した一例  
新潟市中央消防署 鈴木春光
- 3) 化学損傷に対する救急隊のアプローチ  
燕・弥彦総合事務組合消防本部 燕消防署 深海 翼
- 4) 搬出困難な状況下での救命処置 ～救出か、それとも継続か～  
上越地域消防局 黒坂雄太
- 5) 照会困難でターケットを長時間使用した症例  
加茂地域消防本部 新飯田正
- 6) 長期の腹臥位を行った症例に対しての褥瘡予防の取り組みとその効果  
新潟大学地域医療教育センター魚沼基幹病院 救命救急・外傷センター 森山一樹
- 7) 栃尾署管内における高齢者施設の救急搬送の現状と課題  
長岡市消防本部 栃尾消防署 森 進

8) 地域が持つ救命のための取り組みをすべて活用し、救命された事例

新潟市消防局 東消防署 藤田裕之

休憩 (14:30~14:40)

14:40~16:00

【パネルディスカッション】

司会 西山 慶 (新潟大学)

## 「ポストコロナ時代における 新潟県の救急医療」

感染症パンデミックから救急医療を守る～新潟県 PCC の取り組み

新潟大学大学院医歯学総合研究科 災害医学・医療人育成分野  
教授 高橋 昌

県央医療圏・医療再編による救急医療立て直し計画

～県央基幹病院開院を軸に～

県立燕労災病院 救急科  
部長 新田正和

救急拠点に向けた済生会新潟病院の挑戦

済生会新潟病院  
院長 本間 照

共催 新潟救急医学会・株式会社 日本血液製剤機構